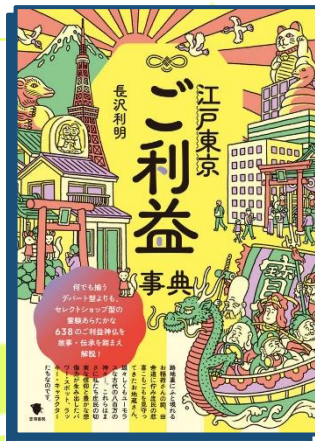


福を招く お守り菓子

溝口 政子／著 講談社
請求記号：383

願いや祈りをかたちに込めた、かわいくて懐かしいお菓子 350点を図版や写真とともに紹介。行事と菓子カレンダーも載っています。

祝う、占う、厄を祓う。各地の年中行事や習俗と結びつき、昔から大切にされてきた素朴な菓子。こうした菓子には、厄を祓い、福をもたらす意味があることから、この本では、「お守り菓子」と名付けています。(柏市の「鳥ビシャ」も紹介されています。)



江戸東京 ご利益事典

長沢利明／著 笠間書院
請求記号：387

この本では、東京都内にある、民間信仰・庶民信仰の対象としての諸神仏が取り上げられています。

巻末には、地域別索引、ご利益に合わせた索引、祭神・本尊別索引があり、目的に合ったものを見つけやすくなっています。東京に行く際に、参考になさってみてはいかがでしょうか。



中原淳一の世界 幸せになる言葉

ひまわりや／監修 世界文化社
請求記号：159.6

『少女の友』の挿絵、表紙絵等で一世を風靡し、『ひまわり』『女の部屋』等の雑誌を創刊するなど、マルチな才能で“本当の美しさ”とは何かを発信し続けてきた中原淳一。毎日の生活に夢と潤いを持つことを提唱した氏の絵や文章に触れれば、新春一番の福が舞い込むかもしれません。

福

をよぶ 本



幸福とは何ぞや

佐藤 愛子／著 中央公論新社
請求記号：917

すべて成るようにしか成らん。不愉快なことや怒髪天をつくようなことがあってこそ、人生は面白い。死ぬことも怖くないし、貧乏も怖くないし、どん底をくぐり抜けるといことはありがたいことだった。生きるとは、老いるとは、死とは、幸福とは…。読めば力が湧くメッセージが込められています。